

光彩だより

2016年 春号 (2016. 4. 15 発行)

- ★就労移行支援事業所・就労継続支援B型事業所 京都市朱雀工房・・・p 1
- ★就労継続支援B型事業所 西山高原工作所・・・p 2
- ★就労継続支援B型事業所 ワークステーションかれん工房・・・p 3
- ★京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」
 こころのふれあい交流サロン「なごやかサロン」・・・p 4,5
- ★グループホーム賀陽、グループホーム山ノ内、グループホーム光・・・p 6
- ★訪問介護ステーション 光彩・・・p 7
- ★府庁 ゆめこうば・・・p 8
- ★相談支援事業所「こうさい」、法人からのお知らせ・・・p 9,10,11

《発行》社会福祉法人 京都光彩の会（発行責任者／上村啓子）

〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町 30 京都市地域リハビリテーション推進センター 1F

TEL：075-813-0501 FAX：075-813-0520

E-mail：info@kyoto-kosainokai.jp URL：http://kyoto-kosainokai.jp/

法人が20周年を迎えます

私ども京都光彩の会の運営にいつもご支援、ご協力をいただきありがとうございます。

本年、社会福祉法人京都光彩の会は設立20周年を迎えます。平成9年4月1日に当時京都市内の家族会の集まりであった京都市家族会連絡協議会を母体として、京都市のご尽力で、社会福祉法人京都光彩の会が設立されました。加藤理事長、石神文子施設長を中心に、京都市から精神障害者通所授産施設「京都市朱雀工房」の事業委託を受けたのが始まりです。翌平成10年、年地域生活支援センター「なごやかサロン」を附置し、平成11年には「なごやかサロン」が事業化となり、「グループホーム賀陽」を立ち上げ、「西山高原工作所」を設置し、「グループホーム山ノ内」を設置していきました。

私は平成13年5月に廣瀬幸二郎施設長の跡を引き継ぎました。それまで精神障害者の共同作業所に在職していて、京都光彩の会の活動を見聞きしておりましたので、4年間でよくこんなにも施設整備がすすんだものだと感嘆するとともに「私にやれるのだろうか」と大変不安になったのを思い出します。いろいろな方のご協力、ご支援をいただき、その後「グループホーム光」「ワークステーションかれん工房」「相談支援事業所こうさい」を開設することができました。またケアマネジメント、地域移行支援事業、24時間拠点事業等の試行事業等の業務委託を受け、地域生活支援センターは3障害・児童と対象が広がってきています。

今後も「向き合い、寄り添い、ともに考え、ともに歩む」という理念のもと自立と社会参加の促進、並びに地域福祉に力を尽くして参りたいと思います。皆さま、引き続きご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

京 都 市 朱 雀 工 房

● 近況報告

現在の利用者数は、就労移行 11 名、B 型 17 名の計 28 名となっています。就労移行では、4 名（うち、A 型 2 名含む。）が就職されました。

今年から、経本を折る新しい作業が増えました。皆さんすぐにコツをつかまれ、楽しみながら、集中して取り組まれています。

昨年から取り組んでいる、授産製品のメガネケースを初めて出店で販売し、買っていただきました。自分たちが制作した物が売れたことで、皆さん喜んでおられ、向上心も上がったように感じられました。

メガネケースの作成に参加していただいている利用者の方からの感想をご紹介します！

～メガネケースを作成して～

作ってみたら結構難しく、やり方を覚えるのが大変だったけど、段々慣れてきて自分で作れるようになってきました。皆で効率よく作って、数をあげられるようにしたいです。

今後、新たに出店があるので、それに向けて皆さんで力を合わせて作成しています。今後も工賃向上を目標に頑張っていきます！！



● 職場実習報告

京都障害者就業・生活支援センターからのご紹介で就労移行の利用者が企業実習に行かれました。

～ 実習について、インタビューしてみました ～

Q1、どんな実習にいきましたか？

スーパーのバックヤードです。

Q2、実習はどうでしたか？

野菜の袋詰めの仕事をしました。不良品がないかをチェックしたり、袋に入れる個数を間違えないようにすることが難しかったです。

Q3、実習で心がけていたことは？

ミスしないことと大きな声で返事や挨拶をすることです。

Q4、実習で勉強になったことは？

仕事をする時は体調を整えることが大事だということです。

Q5、今後の目標は？

大きな声で話すことと仕事でミスしないようにすることです。

就職に向けて日々、頑張られています！！



お知らせ

就労移行の定員に空きがあり、募集しています。

- ★就労を考えておられる方
 - ★就労に向けての準備をしたい方
 - ★朱雀工房に興味を持たれた方
- 是非ご連絡下さい
見学も受け付けています！！



西山高原工作所

－ 来年度の目標 －

今年度もあと少しとなってきました。一年を振り返ると、毎日自分自身忙しい中で毎日送ってきたので、本当にやらなければならないことがやれたのか疑問があります。とは言え新しい年度も始まります。

目標ですが、「それぞれの方が自分の目標に向かいつつ、コミュニケーション力・作業の技術力を深めていくこと、また、出来る作業工程を少しずつ増やしていくことなど」です。

職員は利用者のちょっとした変化に敏感に気づき、個々の求めている希望に寄り添いつつ引き続いて支援して行きます。その都度個人面談を行い信頼関係をさらに深めて行きたいと思います。

西山高原工作所のなかで、作業やその他のことも皆が協力し合うという考え方は今年度も引き続き進めてい行きます。その中で一人一人が社会的な成長に繋がり色々な問題に直面したときに困ることがないように力を身につけてもらいたいです。作業面でもミーティングを大切にして、その都度必要に応じて行って行きます。

作業は協力せずして、納期に納めることもなしえないです。個々ができる力を少しずつ出し、まとまった力となり、出来ないことでもなし得ます。そんなまとまりのある雰囲気・環境づくりを目指していきたいです。

また、設備の面でも10年からなる印刷機の新設や作業効率を考えた設備の導入も行っていきたいですが、それには補助が必要になってくるので設備拡大に繋がるような補助金を求めて行かなければ、この先機器のメンテナンスも難しくなってきます。



作業面だけでなく、昨年ではできなかった、一日レクレーションなど、皆が楽しめ笑顔になれるような企画を考え、少し時間ができた時などにも楽しめることを積極的に取り組んで行きたいです。社会活動の目的としても大切だと思います。

休日の過ごし方について皆に聞いてみると、外に出かけられる人は限られていて、なかなか気持ちが出かけるという処までにいたっていないのが現状のように思われます。

でも、少しの時間を利用して一緒に出かけると、皆の表情からも伺えるように心がとても豊かになり、笑顔でその時間を過ごされているがよく伝わってきます。

レクのことを少し前から職員間で、それぞれの方の表情を思い浮かべながら、どこがいいか話し合いを続けています。

それから、後任の職員も迎え新たな一年を職員一丸となって利用者の方々をサポートして行きたいと思います。

これからもよろしく願いいたします。





ワークステーションかれん工房



☆平成 28 年度に向けて

かれん工房は、平成 28 年 7 月 1 日から 10 年目の年を迎える事になりました。

最初は A 型事業所として、平成 25 年 4 月からは B 型事業所として、地域や関係者、メンバー、職員、皆さまのご協力でこの年を迎えられることに、身のひきしまる思いが致します。

平成 28 年度のかれん工房の目標は、メンバーや職員一同がそれぞれの目標を持ち、かれん工房で皆と協力して過ごす日々を通じて自分の出来る事、やりたい事を一つずつ着実に達成できる、その為の支援を行うことです。

メンバーや職員が希望を持って生き生きと働き、それを地域や社会に何らかの形で還元できる、それがこれからも続けていかれますよう、今後とも何卒宜しく願い申し上げます。

(かれん工房 齊藤)

☆所外レクに行ってきました

2 月 9 日の火曜日 13 時～16 時に所外レクとしてカラオケと漫画ミュージアムに行ってきました。今回は候補地が多数出た為、初の試みとして 2 ヶ所に分かれてのレクとなりカラオケは全員で 8 名、漫画ミュージアムは全員で 6 名で行きました。

カラオケは 8 人で入っても余裕を持ってくつろげる程の大部屋で、ゆったりとカラオケを楽しめました。漫画ミュージアムは館内を見学したり好みの漫画を探して読んだり、お土産を買ったりしてゆっくり過ごせました。

どちらのグループも皆で交流を深める事ができ、とても楽しい時間を過ごせました。

(かれん工房 高原)

レクの感想

～カラオケ～

2 月 9 日、メンバーさん・スタッフさんで西院駅近くのカラオケへ行きました。昨秋の USJ は遠慮したのですが、ミスターチルドレンのしるしと HY の 366 日とグリーンのキセキを熱唱しました。

私は誰かとカラオケに行くのが 3 年ぶりくらいだったのでとても楽しい思い出になりました。皆で盛り上がりとても楽しかったです。また行きたいと思います。

(かれん工房 及川)



～マンガミュージアム～

マンガミュージアムには、マンガが沢山あり、読むこともできたので良かったです。

皆さんと一緒にバスと電車に乗ってマンガミュージアムに行き、少しですがメンバーさんと話すこともできたので良かったです。レクに前から参加したいと思っていたので、参加出来て良かったし、また次のレクも参加したいと思いました。

(かれん工房 A)



☆新メンバーの紹介☆

12 月からかれん工房へ来ています。3 カ月ほど経ち、皆さんとも話せるようになりました。これからも仲良くしていきたいです。何事も日に日に上達できるようになっていると思います。もっともっと頑張りたいです。これからも宜しく願いします。

(かれん工房 H)

京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」 こころのふれあい交流サロン「なごやかサロン」

新年度を迎えて

平成 28 年 4 月より新たに相談支援専門員を 1 名増員し、新体制でのスタートとなりました。より幅広い相談に応じられるよう努めていきます。

今年度の取り組みについて事業ごとにご紹介いたします。

■ 相談支援体制の強化

平成 26 年度から三障害対応となり、平成 27 年度からは障害児相談支援の指定を受け、幅広く相談を受けられる体制を作ってきました。今年度は三障害、障害児の相談支援と併せて、支援困難ケース、虐待ケース、触法障害者への支援など、求められる役割を果たせるよう努めていきます。

計画相談支援については、今年度も継続して新規の依頼が見込まれるため、相談依頼に対応できる体制を作り、他職種・他機関との支援チームを作るコーディネーターとしての役割を意識し、地域で支える仕組みを作っていきます。

■ 地域移行支援・地域定着支援

個別給付のサービスに至るまでの丁寧な関わりが必要であることから、ピアサポーターによる病院訪問活動を継続しながら、地域移行の新たな仕組み作りとなる取り組みについても企画していきます。

また、地域相談受託事業所拡大を進めるため、研修会開催や、地域移行支援実務者会議への参加を呼び掛けていきます。

■ 24 時間相談体制構築モデル事業（地域生活支援拠点）

平成 27 年度より始まった 24 時間相談体制構築モデル事業における地域生活支援拠点の役割を継続して担っていきます。

具体的には、休日等に緊急な対応が求められることを想定して、包括的な相談体制の構築に向けての一翼を担うことを目指します。土日に加え、祝日・年末年始にも対応できる体制を継続しながら、日々のご様子を踏まえた個別のプラン作成し、事業を円滑に実施できるように努めていきます。

■ 機能強化サロン

今年度も『なごやかサロン』の運営と京都市内にある『こころのふれあい交流サロン』への相談員の派遣事業を継続していきます。また、相談員の派遣事業では、各サロンの利用者の相談に応じながら、希望される方には生活プランの作成をお手伝いします。（中條）

～『なごやかサロン』

喫茶提供の終了について～

平成 27 年度をもって喫茶の提供を終了いたしました。これまで多くの方にご利用いただきありがとうございました。



ピアサポートについて

京都市内にある精神科病院のひとつ。ここには支援センター「なごやか」に登録されているピアサポーターの方が定期的に訪問しています。その目的は院内のOTプログラムに入院患者さんと一緒に参加し、入院生活の共感や地域生活にまつわる様々な話題を通じて、入院患者さんの退院意欲を喚起することを目標に行っています。

平成24年度からこのスタートしたこの活動も、今年で4年目になりました。いつかは地域移行の個別支援につながるという想いでピアサポーターの皆さんも熱心に取り組んできた結果、お一人の入院患者さんから「私、事業を使って退院してもいいかしら」という相談をいただくことができました。支援者はもちろん、ピアサポーターの方にとっても「やったあ！」と声に出して喜んでいきます。

ですが、やっとスタート位置に立ったばかり、ここからが本番です。入院患者さんとピアサポーター、支援者の三人四脚で退院までのコースを共に走ってゴールを目指していこうと思います。(田上)



新任職員紹介

城 紗弥香

今年の4月より障害者地域生活支援センター「なごやか」にて勤務をしています、城(じょう)紗弥香(さやか)と言います。今まで他県に勤めていたので、京都市のことについてこれから勉強していきたいと思っています。1人の相談支援専門員として、また、1人の人として成長をし、日ごろの業務でみなさんに還元できるようがんばりますので、よろしくお願いします。

田中 稔一

平成28年4月より支援センターなごやかで働かせて頂いております田中(たなか)稔一(としかず)と申します。以前は大阪で障害福祉のお仕事をしばらくさせて頂いて、縁あって今回なごやかの方で働かせていただくことになりました。京都の事はまだ分からないことだらけですが皆様と一緒に勉強させて頂き、楽しく過ごしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

細川 諒

今年度からアルバイトの1人として、なごやかサロンでお手伝いさせて頂く、細川(ほそかわ)諒(りょう)と申します。普段は花園大学院で勉強させて頂いています。皆様にご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、日々勉強と頑張っけて参りますので、これからよろしくお願い致します。

舘 香織

平成28年3月よりなごやかサロンにアルバイトとして勤務させて頂いています、舘(たち)香織(かおり)と申します。まだまだ分からないことが多く、皆さんに教えてもらいながら、少しずつ自分のものにしていけたら、と思っています。利用者さんもスタッフさんもみんな優しく和やかな雰囲気、楽しくお仕事させて頂いています。宜しくお願ひ致します。

宮城 貴恵

平成28年4月よりなごやかサロンさんのスタッフをさせていただきます、学生の方宮城(みやぎ)貴恵(きえ)と申します。趣味は編み物や散歩です(よく迷子になります)。色々教えていただいたり、色々お話をさせていただきたいと思っております。宜しくお願ひ致します。

グループホーム 賀陽 興味があったからいろんなところに行けました
グループホーム 山ノ内
グループホーム 光

◆グループホーム賀陽での日々を振り返ってー

グループホーム賀陽開設当初から約 17 年間、世話人として勤務して下さった中東さんが、平成 28 年 3 月をもって退職されることとなりました。

そこで中東さんにグループホーム（以下 GH）での思い出について伺いました。

ー17年間を振り返ってみていかがでしたか？

見本のない仕事だったので何もかも手探りだったことと、私その道の人間じゃないので、本当に入居者に何もかも教えてもらったという感じがします。

ーGH で働いて楽しかったことや、良かったと思うことを聞かせてください。

入居者と密に関わることができて、その生活が楽しかった。楽しいからできたんだけどね。みんな一緒に楽しく暮らしたという感じです。

どちらかというと GH はあまり他の人の目が届かない所でしょ？嬉しいことも困ったことも共有する相手がないのは寂しいし不安だったけど、家族会の方に励ましてもらったり、監督が厳しくないことをいいことに好き勝手に働きました(笑)。

初期のころは1日の勤務だったので、入居者一人ひとりの通所先に電話しては尋ねていったり、新しいグループホームができればしらみつぶしに見にいきました。

ー世話人業務の傍らで、通所先にも訪問するなど入居者個人にも丁寧に関わっておられたんですね。

その方が通所先で何をしているのか気になるし、どんなことを GH でしておけば通所先で役立つとか…それを知ると関わり方が変えられるしね。

ー中東さんのお話を聞いて、とても GH の仕事を楽しんでおられたんだと思いました。支援に関わる方にメッセージがあればお願いします。

業務命令や管理やらに負けないように、楽しく働いてください。縛りがあると恰好がついた仕事はできるけど、面白い仕事はできないと思います。仕事を面白くしようというゆとりも大事です。

いろんなことを言うけれど、生活支援は「生活を楽しむ」ということが一番先にあると思います。

グループホーム賀陽を入居者と一から作り上げ、いつも明るく元気に勤務して下さった中東さんには感謝してもしきれません。本当にありがとうございました！



◆新人職員紹介◆

2月よりグループホームの生活支援員として勤務している堀江（ほりえ）卓也（たくや）です。

社会福祉士の資格を大学卒業とともに取得したまま、福祉とは全く関連しない一般企業で働いていました。遅ればせながらの支援員スタートですが、少しでも早く皆さんに信頼していただき、『向き合い・寄り添い・共に考え・共に歩む』ことができるように邁進いたします。

訪問介護ステーション 光彩

今年は9年目に入りました。平成20年に開設され丸8年、歳月が流れるのは早いものです。現在の訪問介護ステーション光彩では6名のヘルパーさんが在籍されています。ここ数年では安定して5~6名のヘルパーさんが活動くださっています。

6名のうち2名は法人が委託されて実施した「介護サービス科」修了者です。また、6名のうち4名は心の病と付き合っておられる方々です。

訪問看護ステーションをご利用くださっている利用者様は、精神に障害をお持ちの方が9割を占めているため、心の病に向き合い、活動しているヘルパーステーションの光彩のヘルパーさんには、私も管理者として信頼を置いています。



今年も精神に障害のあるヘルパーさんが一人、介護福祉士受験に挑まれました。まだ合否は出ていませんが、試験を受ける覚悟、勉強の日々、緊張の高い会場に向かう姿に感銘を受けました。試験5日前、やっぱり受験をやめようかと悩まれましたが、当日は受験会場に向き、不安の中、調子を崩さず、無事試験を受けられました。日ごろの仕事のペースも落とさず、働きながら受験勉強をするということは、本当にしんどかったと思います。仕事への熱意を、私が頂いたような思いです。

平成27年11月には恒例の「精神に障害のある人たちへのホームヘルプについての研修会」を開催することが出来ました。8回目となる加藤博先生の講義は好評で、リピーターが増えてきました。総勢48名の参加でした。参加者の皆さんからのアンケートには「非常に良かった」「来てよかった」「今後に活かせる」と多数の声があり、このヘルパーさん向けの勉強会も引き続き頑張っていきたいと思います。

毎月の事業所内勉強会は、出席率100%です。ヘルパーさんの勉強意識は高く、この姿勢に負けないように、切磋琢磨しています。勉強会の内容は事業所ブログに随時掲載中です。

平成28年度もヘルパーさん達と一緒に事業所を盛り上げていきます。小さな事業所ですが、どうぞ今年度もよろしく願い申し上げます。

管理者 山下理恵子

募集中!!



私たちと一緒に働いて下さるヘルパーさんを募集中です

お気軽にお問合せください♪ (075-384-7066)



府 庁 ゆ め こ う ば

新しいことにチャレンジ

平成25年に発足したゆめこうばも早3年が経とうとしています。今年度はゆめこうばにとって新たな取り組みがいくつかあり、その中でも大きな出来事は、ゆめこうば職員が3ヶ月間、週に1度、障害者支援課にて実習をさせていただいたことです。

ジョブパートナーは付き添わず、電話対応や府庁の職員からの直接指示を受けながら業務を進めていき、その後、支援課職員と一緒に実習の振り返りを行うなど、就労に向けて実践的な取り組みが出来たと思います。この実習を経て、ご本人・ジョブパートナー・府の職員が一体となって就労に向けて進んでいます。

また、最近では2人で1つの作業と一緒に取り組む作業も増えており、お互いに持っている力を尊重し合うことが出来るチームとなっているため、こういった作業もスムーズに進められます。

これからも就労へ結びつく経験をたくさん積み、「私はこれができる！」と自信を持ってここを卒業して行ってほしいです。

最後になりましたが、今年度でジョブパートナー磯見が退職となり、4月からは新しくジョブパートナーが就任いたします。発足当初からの3年間を振り返ると、とても感慨深いものがあります。たくさんの方に支えてもらい感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

ジョブパートナー 磯見友絵

新人職員紹介

寺田 さをり

平成28年4月より府庁ゆめこうばでお手伝いをさせていただき、寺田(てらだ)さをりと申します。皆様に常に寄り添い、皆様の声に耳を傾け、信頼していただけるようがんばります。

皆様と共に勉強しながら、楽しく歩んでいきたいと思っております。宜しくお願い致します。

松永 仁美

4月より府庁ゆめこうばにてジョブパートナーとして勤務しています松永(まつなが)仁美(ひとみ)と申します。熊本出身で京都にきて丸3年立ちましたがまだまだ観光気分が抜けません。

福祉の仕事はまだ経験が浅く勉強中の身なので、いろいろとお聞きすることがあるかと思っておりますので、よろしくご指導ください。

磯見ジョブパートナーがこれまで作り上げてこられた人との繋がりを大切にして精進いたします



法人からのお知らせ

当法人では事業所間の交流と連携を深めるために各事業所から委員を出し、『研修』『リスクマネジメント』『将来構想』の3委員会を設け、平成24年から活動をしています。

● 研修委員会からの報告

3月26(土)、岡田まり先生を講師に「動機づけ面接法～実践編」研修実施

一昨年、立命館大学岡田先生を講師としてお招きして行った「動機づけ面接法～基本編」が、とても反響があり、多くの職員から是非実践編も学びたいとの声が多かったことから、今回の開催に至りました。

最初は技法の復習としてチェンジングトークを呼び覚ます方法や、チェンジングトークを強化するものはご本人の変わりたいという願望、変わることができるという能力、変わることによって良いことがあるという理由、変わる必要性を感じる、これからのプラン・予定を述べることである等講義していただきました。

その後法人内の困難事例をもとにロールプレイを行い、開かれた質問をしているか、共感できているか、反射や要約ができていないか確認するとともに、利用者の役割をして、利用者の気持ちを理解することができました。「なぜ～したのですか？」などの言葉の遣い方は、利用者の抵抗を呼び覚ますこともあると知り、自分の声のかけ方を振り返ると同時に、練習と意識化が大切と痛感しました。学ばせて頂いたことを実践し、今後の支援に活かしていきたいと思えます。

岡田先生、年度末のお忙しい時期にお時間を作って頂き、誠にありがとうございました。



岡田まり先生による研修の様子

● リスクマネジメント委員会からの報告

防災研修を法人内勉強会で行いました

ヒヤリハット報告提出の促進や災害に備えての準備や防災研修等を行っています。防災に対する意識を喚起するためにクイズを取り入れたり、シミュレーションで防災が起きたときに何をするか等話合っています。

またヒヤリハット通信を創刊し、これまでのヒヤリハット事例を SHELL モデルに基づき分析し、気づきを深めています。

● 将来構想委員会からの報告

冊子「法人のあゆみ」を作成しました

法人の将来計画作成に向けて理念を確認したり、共有したりする活動をしてきました。

これまでの法人事業の経緯を知らない職員も増えてきたため、法人勉強会で各事業所の設置に至る経過を施設長から話してもらい、「法人のあゆみ」として冊子化しました。

相談支援事業所「こうさい」より

27年度は68名の利用者の方に計画相談支援を実施しました。(※26年度の利用者数=11名)

当法人(社会福祉法人京都光彩の会)事業所の利用者の方中心に受け入れを行っていますが、可能な範囲で当法人事業所を利用されていない方のご相談にも応じていく方針です。詳しくはお問合せ下さい。(電話番号 075-384-0052)

● 7月の清掃講習会、最終の開催です

ビルメンテナンス協会にご協力いただいて清掃講習会を7月4,5,6,11,12,13日に京都市朱雀工房にて実施します。

平成10年から清掃講習会を行ってきましたが、ビルメンテナンス協会が新しく資格を設けられることになり、これまでのような清掃講習会は今回で最終となります。

今回は期間も短いので、参加していただきやすいのではないかと思います。

近いうちにご案内をいたします。ふるってご参加ください。

● 「介護サービス科」終了しました

9月1日から始まった「介護サービス科」が12月11日に終了しました。職場実習先でさらに職場での実務にそった実践能力習得訓練コースを経て、4名が高齢者施設に就職されることになりました。他の業種で就職された受講生も2名いらっしゃいます。

丁寧に講義や、指導をしてくださったユーコム総合学院の先生、職員の皆さま、助言や励ましで受講を支えてくださった支援者の方々、実習を受け入れてくださった施設・事業所の方々、どうもありがとうございました。

平成16年から精神障害のある人たちへの職業訓練を是非実施できるようにと京都精神保健福祉施設協議会で話合っ、光彩の会が介護サービス

科の委託を受け、12年開講してきました。開催毎3名以上は就職をされてきています。

平成28年度からは職業訓練の講座数が増やされ、ジョブパークと連携して就職支援を行われると伺っています。これまでのような形での職業訓練からは変わりますが、雇用に結びつきやすい訓練ですので、ご活用いただけたらと思います。

3月20日に介護サービス科のOB会を開催しました。参加者からはOB会では他の方の仕事ぶりや様子を聴けて励まされる、元気になれる、是非OB会を続けてほしいという声が多かったです。次年度からは職業訓練の受託はいたしません、OB会は継続していきます。



● 佛教大学「ゆいまある」ショップCOCO

2月25日に佛教大学「ゆいまある」で実施されたショップCOCOに参加させていただきました。たくさんの学生さんが呼び込みや自主製品の販売をメンバーと担ってくださいました。メンバーは、学生さんや他の事業所のメンバー、スタッフとも交流でき、楽しく、いい経験になったと話していました。



● OB 会を開催しています

京都光彩の会が運営する事業所を利用した OB の方、職業訓練修了生を中心にして、互いに近況や得意なこと、心配や気になること、聞いてみたいことなどを話しながら元気になることをめざして3カ月に1回開催しています。

「自分と同じことで悩んでいる人がいることがわかった」、「参考になった」、「明日から元気でやっつけようと思う」、「楽しかった」等参加しての感想が寄せられています。

今回は4月17日（日）に京都市朱雀工房で開催します。ご案内が届いていない方も OB の方は参加可能です。どうぞご参加ください。

● ミレニアムライオンズクラブさま、ご支援ありがとうございます。

ミレニアムライオンズクラブは2000年に結成され、結成当初から精神障害のある人たちにご支援をくださっています。コンサートを開催したり、桂川清掃・バーベキューを行ったり、継続してご支援をいただいております。

12月1日の15周年記念例会にご招待いただき、ご寄附を頂戴いたしました。ありがとうございます。今後も交流を続けていけたらと願っています。

● 家族会からのお知らせ

「京のかれん」家族会は、京都光彩の会が運営している事業所を利用している、利用していたメンバーのご家族で構成しています。平成9年から家族相互の助け合いと精神保健福祉の向上のために活動を続けています。2カ月に1回例会を開催しています。

平成28年度の総会を4月16日午後1時半から京都市朱雀工房で行います。新年度役員も決まり、フレッシュな顔ぶれになりました。方向性や活動を決定する総会です。是非ご参加いただき、ご意見をいただきたく思います。

社会福祉法人 京都光彩の会 後援会からお礼とお願い

平素は社会福祉法人 京都光彩の会 後援会にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。この紙面をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

後援会は、社会福祉法人光彩の会が運営する社会福祉事業の発展のためにご協力とご支援をいただくために設けた会です。

年会費は各年度毎、下記のようになっております。ご趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

- ・個人会員 一口 3,000円
- ・団体・法人会員 一口10,000円

編集後記

平成27年度は移転の他、各事業を支えてこられた職員の退職や異動があり、激動の1年だったように感じます。28年度は新しく入職された方とともに、退職された方が積み上げてきたものを大切にしながら頑張っていきたいと思っております。



↑グループホーム入居者さんが育てておられるシクラメンがきれいに咲きました！（清水）